

栽培期間の長い作物用の省力、環境保全の肥効調節型肥料です。

春1回だけの施用で1年間、肥効が穏やかに続き、お茶の安定生産を可能にします。

N	窒素（化成）	1.4 kg
	窒素（被覆）	4.6 kg
P	りん酸（化成）	0.6 kg
K	加里（化成）	0.6 kg

（1袋20kgあたり）

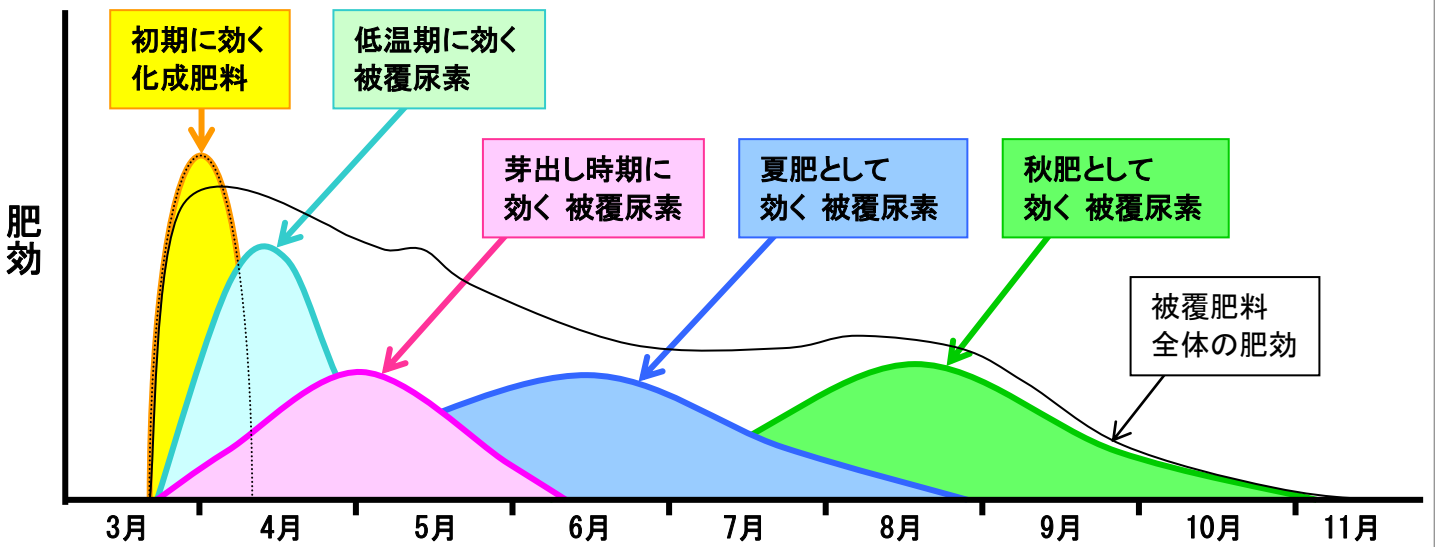


### 特長

初期に効く化成肥料と、春肥、芽出し期、夏肥、秋肥の4種類の被覆肥料を配合、肥切れなく、1年間肥効が穏やかに持続します。

### 肥効イメージ

#### お茶用一発033（3月20日頃施肥の場合）



### 施肥量・施肥方法

銘柄	施肥時期	標準施用量（10aあたり）		施肥方法
		現物	窒素成分	
お茶用一発033	3月前後	100～190kg	30～57kg	施肥量は、作型、慣行の施肥窒素総量に合わせ、地力により加減してください。 堆肥、石灰、りん酸資材等の土壌改良資材、必要な単肥等は従来通り施用してください。

※上記の窒素成分標準施用量は、神奈川県作物別施肥基準（平成24年度版）参照

神奈川県推奨基準	定植3年目	壤土1茶	壤土2茶	砂壤土1茶	砂壤土2茶
10aあたりのNPK成分(kg)	N30-P20-K20	N43-P20-K20	N50-P20-K20	N50-P20-K20	N57-P20-K20